



昭和57年卒 富山泰男

本庄学院「復活」に期待

稲光会の皆様、昭和57年卒、新潟の富山泰男です。今から30年くらい前の話ですが、故川名監督が大学の監督を一時離れ、部員の安定供給のため本庄高等学校フェンシング部を立ち上げました。その時初代コーチとしてお手伝いさせていただきました。

当時、上越新幹線の本庄早稲田駅がなかったため2人で在来線の電車で揺られながら本庄まで指導に行ったのは今では懐かしい思い出になりました。埼玉県大会にもよく行ったものです。その時、高校生の指導を修行させてもらいました。その経験は新潟で監督をする時にたいへん役に立ちました。

本庄学院の第1期生は早稲田大学に進学したものの入部せず。第2期生から学部進学後即入部という形ができあがり、ついには中心選手として早稲田を引っ張っていくようになったのです。その時は

本庄にうれしくて誇らしかったです。川名前監督も大学監督に復帰し早稲田はさらにパワーアップしました。

毎年、8月の終わりに慶応日吉キャンパスで開催される早慶選抜フェンシング招待試合に新潟高校を率いて参加しています。生徒たちはこの大会を「早慶戦」と呼び、打倒早稲田、打倒慶応に闘志を燃やし、慶応義塾高校、慶応義塾湘南藤沢高等部、そして早稲田大学高等学院と激しい戦いを展開します。残念ながら本庄高等学院は出場していませんが、対戦できるような復活を願っています。稲光会には本庄高等学院出身者が多数いますが、その中にはフェンシング部の復活を望んでいる者が少なくないことを信じています。



平成9年卒 秀島郁江 (旧姓・戸ヶ崎)

幸せな「きょうだいげんか」振り返ること3年前の1月、長女を緊急出産。長女は大学病院に緊急搬送され、1年4ヶ月の間、一度も帰宅することなくNICU(新生児



矢口部長、故川名監督と道場で

ミック教室に通い始め、新たなスタートを切っています。妹の病院に会い詰めだった私と、病院にいる妹のことをよく理解して、兄として頑張ってきてくれた長男、最近では普通に妹とけんかしてお互いの主張をぶつけあっています。会報制作を引継いでくださった小幡先輩に、当時「必ず心から笑える日が来るよ」とエールを頂きました。2人の宝物に囲まれ、本当に心から笑える日：来ました！

心身ともに健康で皆で笑って過ごす穏やかな日々、この恵みに感謝する今日この頃です。



こんなに元気です！

WASEDA CLUB

ワセダクラブは今年の4月から活動10年目に入りました。在籍者約40名。日曜午前中道場で元気に活中。ワセダクラブを卒業し高校・大学で活躍する選手も増えています。

【主な試合結果】

関東大会(2月)

▼新中学女子

黄田佳倫 4位

▼新小学3・4年男子

鈴木統吾 準優勝

高橋未栄 4位

奥地頌之進 5位

原田祐太郎 6位

◎会費納入のお願い

平成25年度の稲光会費納入をお願いします。会報・名簿は200名以上の会員に送付、6月現在86名の会員から納入頂きました。今一度ご確認の上、左記指定口座にお振込み頂くようお願いいたします。既に納入された場合はご容赦ください。

【会費】 1万2000円

【振込み先】

みずほ銀行日本橋支店

普通口座 2424751

早稲田大学稲光会

平成25年7月15日発行  
編集 早稲田大学稲光会  
発行者 田中 一  
題字 滝口 宏

早稲田大学フェンシング部 HP  
http://www.wasedafencing.com

稲光会報

男子フルレール2連覇!

57年ぶりの快挙達成  
春のリーグ戦は男女ともに美力を発揮。男子フルレール2連覇は実に57年ぶりとなる。4年の北川・鬼澤はユニバーシアード(7月7日〜12日ロシア・カザンで開催)の出場も決定した



2連覇を牽引した北川のフルレール 写真提供/早稲田スポーツ (3点とも)



勝利を決め雄叫びの鬼澤



女子サーブル優勝に貢献した弘瀬(右)

今期、春のリーグ戦に臨むに当り男子フルレールの2連覇、そして男女同時優勝(種目は特定せず)の目標を掲げ、全部員一丸となつて3月からの強化練習・合宿を取り組んできました。

男子の結果はフルレール優勝(2連覇)、サーブル5位、エペ準優勝

の総合成績3位(総合1位・法大、2位・日大)となりました。

男子フルレール陣は北川(4年・主将)、鬼澤(4年・主務)両エースが実力を十分に出し切り、実に57年振りの2連覇の快挙を達成することが出来ました。サーブル陣

女子サーブル優勝/北川・鬼澤ユニバ出場決定!

は昨年のレギュラー2人がイタリヤへサーブル留学の為、苦しい陣容での闘いでした。最終戦の明治(昨年1部昇格)戦で、主将の北川が相手のサーブル・エース守屋選手との最終試合、44対44からの一本勝負を制しての勝利を得て、5位・入替戦回避となりました。続くエペ陣もサーブル陣の頑張り奮起、初日の3試合全てを紙一重の一本勝負で制し、優勝した日大には僅差の惜敗でしたが、日大に大差で勝ち単独2位を確保の健闘でした。

女子の結果は、フルレール5位、エペ3位、サーブル優勝の総合2位(総合1位・日大、3位・日大)と頑張りました。

女子フルレール陣は初日の初戦で優勝候補の法大を破る殊勲のスタートを切りましたが、日体大との一本勝負及び優勝した日大との一本勝負を落とす等、なかなか2勝目が挙げられず苦しみました。しかし上位校との粘りの闘いが結果効を奏し、得失点差指数を睨み

ながらの5位確保となりました。今期のチームは要員4人の内3人がリーグ戦初出場の若いチームであり、良く健闘したと云えます。続くエペ陣も2年生エース(山根)以外は1年生(伊藤、山村)が初出場し、緒戦は3連敗と苦しみました。後半手堅く立ち直り2勝を挙げ、得失点差指数で3位入賞しました。サーブル陣は上級生・弘瀬、真所の両エースを軸に、実力伯仲の3年生・3人が揃う層の厚いチーム編成となりました。実力的にも他チームを圧倒しての勝利を重ね、事実上の優勝決定戦の日大戦を一本勝負で破り、勢いを得ての完全優勝となりました。

男女6種目リーグ戦の総括としては、3月以降の厳しいトレーニング成果を遺憾なく発揮して、十分実力を出し切った闘いが出来たとの感が有ります。これから秋のシーズンに向けて、実力のある種目チームは更に強靱になり、伸び盛りの種目チームは、今が一番大事な時期であることを十分に自覚の上、厳しい経験をどんどん自らに課し、大きく伸びて欲しいと期待しています。(監督・中村立雄)

# 祝勝会&ユニバ壮行会開催



ユニバ出場が決まり、決意を語る鬼澤（左）と北川

## ガンバレ現役！

お祝いを手渡す北原会長（右）  
下は左から佐々木、佐藤、杉山、  
高原、桑波田会員



## 王座決定戦 男子エペ準優勝、 女子サーブル3位

今回の全日本学生王座決定戦は、関東・関西両リーグ戦の各種目別1位から3位迄の上位各6チームが覇を競う大会となりました。当部からは、男子はフルレ・エペ、女子はエペ・サーブルの4チームが出場を果たしました。

関東・関西両リーグ共、各上位3チームの力はかなり伯仲していますが、今回男女6種目中4種目を関東のチームが王座を制しました。その王座獲得4チームのリーグ戦の成績との関連を見ますと、リーグ戦優勝チームが1種目（男子エペ・

日大）、リーグ戦2位チームが1種目（男子フルレ・法大）、リーグ戦3位チームが2種目（男子サーブル・日大、女子サーブル・専大）と、リーグ戦の順位からはかなり波乱含みの結果となりました。王座優勝の為に、「実力と勢い」が大事であることが認識された大会となりました。

当部の戦績は、二連覇を目指した男子フルレが3位、男子エペは準優勝、女子サーブルは3位、女子エペは4位となり、選手にとっては納得のいかない大会であったと思いますが、此処までの努力と4種目・全国上位成績の健闘



リーグ戦日程を終え、監督を囲む現役部員

を称えたいと思います。今回の経験を糧として秋のインカレ優勝を目指すべく、全員の更なる成長を期待する次第です。（監督・中村立雄）

### 【前半戦試合結果】

- ★関東学生リーグ戦結果
- 男子フルレ4勝1敗（優勝）
  - 早稲田45・38明治●
  - 早稲田45・19日体大●
  - 早稲田45・25中央●
  - 早稲田45・35法政●
  - 早稲田37・45日大○
- ※1位早稲田、2位法政、3位日大、4位中央、5位明治、6位日体大
- 男子サーブル1勝4敗（5位）
  - 早稲田28・45中央○
  - 早稲田32・45日大○
  - 早稲田34・45法政○
  - 早稲田25・45専修○
  - 早稲田45・44明治●
- ※1位法政、2位中央、3位日大、4位専修、5位早稲田、6位明治
- 男子エペ4勝1敗（2位）
  - 早稲田41・40法政●
  - 早稲田27・26中央●
  - 早稲田38・37専修●
  - 早稲田30・32日大○
  - 早稲田45・31日体大●
- ※1位日大、2位早稲田、3位法政、4位専修、5位日体大、6位中央
- 女子フルレ1勝4敗（5位）
  - 早稲田31・27法政●
  - 早稲田13・26日体大○
  - 早稲田33・34日体大○
  - 早稲田29・38専修○
  - 早稲田33・34日大○
- ※1位日大、2位日体大、3位専修、4位法政、5位早稲田、6位日体大
- 女子エペ2勝3敗（3位）
  - 早稲田25・26日大○
  - 早稲田25・45日体大○
  - 早稲田34・35東女体大○
  - 早稲田45・38日女体大●
  - 早稲田44・28専修●
- ※1位日体大、2位日大、3位早稲田、4位東女体大、5位日女体大、6位専修
- 女子サーブル5勝（優勝）
  - 早稲田45・30日女体大●
  - 早稲田45・44日大●
  - 早稲田45・26日体大●
  - 早稲田45・44日体大●
  - 早稲田45・36専修●
  - 早稲田45・20法政●
- ※1位早稲田、2位日大、3位専修、4位日女体大、5位法政、6位日体大
- ▼リーグ戦総合順位
- 男子
  - 1位法政、2位日大、3位早稲田
- 女子
  - 1位日大、2位早稲田、3位日女体大
- ★王座決定戦結果
- 男子フルレ（3位）
  - 準決勝 ●早稲田41・42日大○
  - 3位決定戦 ○早稲田45・31朝日大●
- 男子エペ（準優勝）
  - 1回戦 ○早稲田45・38立命館●
  - 準決勝 ○早稲田41・32愛工大●
  - 決勝 ●早稲田24・45日大○
- 女子サーブル（3位）
  - 準決勝 ●早稲田28・45専修○
  - 3位決定戦 ○早稲田45・30日大●
  - 女子エペ（4位）
    - 1回戦 ○早稲田45・41中京大●
    - 準決勝 ●早稲田32・45日体大○
    - 3位決定戦 ●早稲田40・41日大○

## 新人紹介

①学部②出身高校③種目④抱負⑤戦績

### 伊藤山佳

- ①スポー ツ科学部
- ②栃木県



立宇都宮中央女子高等学校③エペ④日々目標を持って練習に励み結果を残せるように頑張ります⑤12年総体エペ4位

### 永瀬夏帆

- ①スポー ツ科学部
- ②宮城県



私立宮城学院高等学校③フルレ④団体ではカンカレ、インカレ優勝、個人ではジュニアの代表を目標に元気に頑張ります⑤10年総体フルレ6位、11年総体フルレ5位、12年アジアアカフルレ3位

### 山村彩和子

- ①教育学部地理歴
- 史専修②



岡山県立玉野光南高等学校③エペ④個人として世界ジュニアを目指し、団体ではカンカレ、インカレで優勝を目指して頑張ります⑤11年12年総体エペ優勝、12年アジアジュニアエペ5位

### 山本隼大

- ①スポー ツ科学部
- ②香川県



立三本松高等学校③サーブル④自分の納得いく結果を残せるよう頑張ります⑤12年JOCカデサーブル5位

### 三好修平

- ①社会科学部②愛媛県立三



島高等学校③フルレ④先輩方のように強くなり、四年間でリーグ戦、王座、カンカレ、インカレ、全日本の初の五冠を達成します⑤11年アジアカデフルレ2位、13年JOCジュニアフルレ4位

### 松山大助

- ①スポー ツ科学部
- ②東京都



私立東亜学園高等学校③フルレ④早稲田の学生としての誇りを持って戦い抜くことです⑤12年総体フルレ7位、総体フルレ団体優勝

## 王座で連覇の難しさも実感、秋は今以上にいい報告を！

主将・北川隆之介

リーグ戦、王座決定戦では応援ありがとうございました。リーグ戦では男子フルレと女子サーブルで優勝し、新チームの目標もあり、監督が日頃からおっしゃっていた「男女アベック優勝」を成し遂げることが出来ました。その他の種目でも、今後に繋がって行けるような試合が出来ました。特に女子チームは主軸の先輩方が卒業し、厳しい試合が続きましたが、チーム一丸で戦えたと思います。その後の関西との強豪とあたる王座では優勝を逃してしまいました。特に男子フルレは二連覇がかかった試合でしたが、一本勝負を落として

### 今年度総会開催

平成25年度総会が4月5日道場にて開催されました。矢口先生はじめ会員10名、現役部員23名（新人6名含む）計33名が出席、議長の前原会長のもと24年度活動報告・決算報告、25年度活動計画・予算計画・幹事人事案等を審議、承認。懇親会では会員・現役部員の紹介、北川主将のリーグ戦への決意表明が行われました。



挨拶する上段右から、矢口先生、平野会長の挨拶は、現役部員と

専修、4位法政、5位早稲田、6位日体大